

神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490
FAX (078) 361-4539
http://nssk-kobeshoten.org/ 振替口座 01110-2-10517

今年の標語

「来てみませんか？」と誘える教会を目指そう。

努力目標

- ◎信仰の学びの機会を増やす。
- ◎礼拝の充実を目指す。
- ◎地域との交流促進。

聖語 いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。(1テサロニケ 5:16-18)

地球環境のために祈る日

神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された。神は彼らを祝福して言われた、「生めよ、ふえよ、地に満ちよ、地を従わせよ。また海の魚と、空の鳥と、地に動くすべての生き物とを治めよ」。(創世記 1章 25-28節)

司祭 ミカエル 小南 晃

今月、6月5日は国連で「世界環境デー」と定められています。そしてこの日に最寄の主日を日本聖公会では「地球環境のために祈る日」と定めています。今年は6月8日(日)聖霊降臨日がこの日にあたります。

何故、6月5日が世界環境デーなのか？

それは1972年6月5日から、スウェーデンのストックホルムで、国連人間環境会議という会議が開催され、それを記念して定められたそうですが、この提案をしたのは、当時公害に苦しんでいた日本だということです。

わが国ではその後、公害を無くす努力がなされ、随分改善されました。しかし地球規模で見ると、むしろ環境破壊は深刻化しています。温暖化、砂漠化など、それらは人間が物質的豊かさを追求することで生じてきた破壊です。

地球環境のために祈る日

日本聖公会では、2010年に聖書的な教えから見ても、環境破壊は神の教えに背くものとして「地球環境のために祈る日」を定めました。奇しくもその翌年、東日本大震災が起こり、福島原発事故により、原子力というさらに深刻な環境破壊の危険と隣り合わせであることを目の

当たりにしました。

東日本大震災直後には、脱原発の選択が趨勢になっていました。しかし今ではコスト削減と経済発展のために原発は大事な柱であるとして政財界では再始動が強く主張されています。

しかしそこに、私たちに突きつけられている課題があります。

物質的豊かさを取るのか、それとも不便や欠乏は承知で環境保全を目指すのか？ 私たち一人一人の生活の仕方が問われているということです。

神の似姿としての支配とは

冒頭に創世記を引用しました。そこに「海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這うものすべてを支配させよう」という言葉があります。これは自然や他の生き物に対して、暴君よろしく好き勝手に支配することが人間に認められたということでは決してありません。

まず私たちは神の似姿として造られたということ、それは神に似た者としての支配を求められているということです。

神は世界を見て、良しとされ、愛されました。人間にも愛による支配が求められた筈なのです。しかし聖書の最初の神話は人間が罪を犯していく姿を描いています。

環境破壊についても、人間が神の似姿に造られながらも、神の似姿たることに失敗している結果であることを神話は示していると言えるでしょう。

私たちが、地球環境のために祈る時、それは私たちの生活において、どのような選択をするのかと言う信仰的決断が迫られていることも覚えながら、また正しい選択が出来るようにと、この時に祈り求めてまいりましょう。

地球環境のために祈り

天地万物を造られた主よ。あなたは、すべてのものを創造され、それらをご覧になって『よし』とされ、祝福されました。そして、その管理を私たち人間に委ねられました。しかし、私たちはあなたのご命令にそむき、自らの欲望を満たすために自然環境を乱用し、破壊さえしています。今、そのことの故に世界中の多くの人々が苦しんでいます。どうか私たちがあなたのご命令に立ち帰り、あなたによって与えられた自然環境を大切に保全し、後の世代のために残すことができますように。また、環境破壊の被害者の苦しみを取り除き、私たちの生活を変え、自然と共に生きることができますように。そして、自然を通じたあなたが現されるご栄光を仰ぎ見ることができるようになってください。主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式
" 9時15分 教会学校
" 10時30分 聖餐式・説教
午 午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会
土 午前10時30分 教会掃除
(ご奉仕をお願いします)